



鹿児島島の5年で見える道づくり

ちやく²プロジェクト2006 (達成状況)

- ◆ 「ちやく²プロジェクト2006」 達成状況 (H18) を公表します。
- ◆ 平成18年度に「川内道路」「新城拡幅」「海潟拡幅」「平川道路」「塚田交差点改良」などが完成しました。



■ 川内道路（薩摩川内都 I C）



■ 新城拡幅

問い合わせ先

鹿児島島国道事務所

099-216-3111

よこやま
横山技術副所長

うえむら
上村技術副所長

大隅河川国道事務所

0994-65-2541

くわはら
栗原技術副所長

目 次

1. 「ちやく²プロジェクト2006」達成状況総括(H18) . . . P. 1~2

2. 「ちやく²プロジェクト2006」達成状況図(H18) . . . P. 3

3. 「ちやく²プロジェクト2006」達成状況一覧(H18~H22) . . . P. 4~9

4. 平成18年度供用箇所²の整備効果 . . . P. 10~24

鹿児島県の5年で見える道づくり「ちゃく²プロジェクト 2006」 ～平成18年度目標の達成状況～

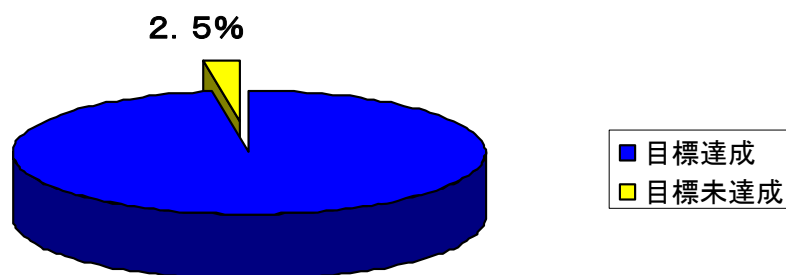
- 「ちゃく²プロジェクト 2006」(H18.7.7 発表)では、鹿児島県の道路事業のうち70の区間・箇所(耐震補強36橋梁)について、「平成22年度までの供用目標」と「平成18年度の執行目標」を策定しました。

1 供用目標達成状況

【供用目標】

- 平成18年度内の供用目標(40区間・箇所)の達成率は98%です。
 - ・改築事業(バイパス、拡幅など)100%
 - ・歩道整備・交差点改良91%
 - ・電線類地中化事業(電線共同溝)100%
 - ・防災震災事業(防災対策、震災対策)100%
- 事業進展により、供用目標を前倒しする箇所は1箇所です。
- 事業進捗の遅れ等により、供用目標を遅らせた箇所は1区間・箇所です。

◆ 供用目標の達成状況



◆ 供用目標の達成状況内訳

97.5%

	H18年度内 供用目標①	H18年度内 供用実績②	達成率 ②/①	H19.4月末 供用実績③	達成率 ③/①	H18~22 供用目標
改築事業 (バイパス・拡幅事業等)	7.6km (5区間)	7.6km (5区間)	100% (100%)	7.6km (5区間)	100% (100%)	29.0 (11区間)
歩道整備・交差点改良 (交通安全事業)	11区間 (6.44km)	10区間 (6.41km)	90.9% (99.5%)	10区間 (6.41km)	90.9% (99.5%)	15区間 (7.44km)
電線類地中化事業 電線共同溝	—	—	—	—	—	3箇所 (km)
防災対策、震災対策事業 防災対策	3箇所	3箇所	100%	3箇所	100%	5箇所
震災対策	21橋梁	21橋梁	100%	21橋梁	100%	36橋梁
区間・箇所計	40区間・箇所	39区間・箇所	97.5%	39区間・箇所	97.5%	70区間・箇所

※区間・箇所計には、震災対策の橋梁も含まれる。

※改築事業は、事業規模が大きいため延長で整理(参考で区間明記)。その他の事業は、箇所数で整理(参考で延長も明記)

※ H18年度内供用実績には、部分供用した場合延長は含まれる。

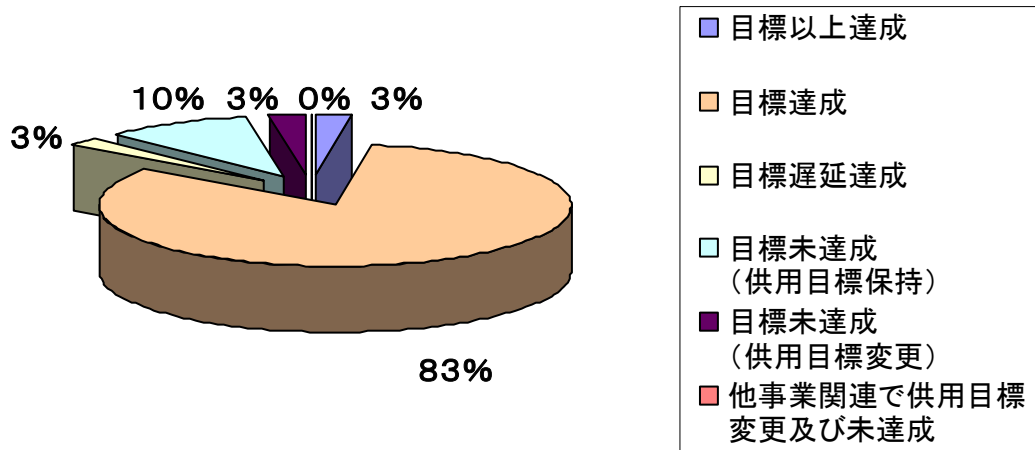
※ 震災対策は H18年度内供用目標以上の23橋梁の耐震対策完了

2 執行目標達成状況

【執行目標】

➤ 平成18年度の執行目標については、全体の83%の区間・箇所で達成しました。

◆ 執行目標の達成状況



3 供用目標変更状況

平成19年4月時点での進捗状況・工程見直しなどに基づき、以下のようにちやくプロ2006の供用目標を変更し、ちやくプロ2007に掲載します。

① 供用目標を前倒しする区間・箇所

区間・箇所名		供用目標の変更内容
国道225号	・下荒田地区電線共同溝	H21 → H20

② 進捗遅れのために供用目標を遅らせる区間・箇所

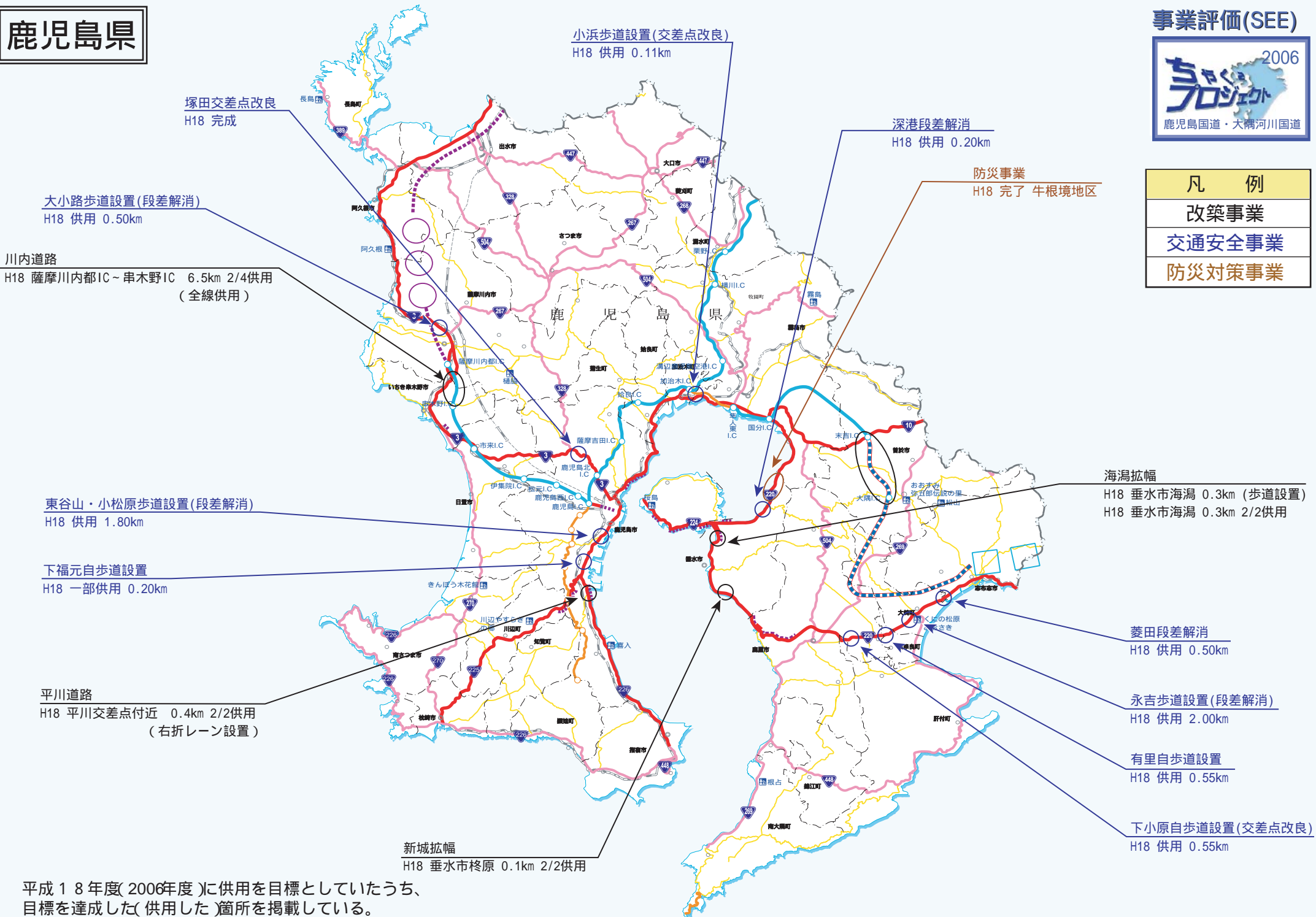
区間・箇所名		供用目標の変更内容
国道220号	・二川自歩道設置 (側道橋)	H18 → H19

鹿児島県

事業評価(SEE)



凡 例
改築事業
交通安全事業
防災対策事業



塚田交差点改良
H18 完成

小浜歩道設置(交差点改良)
H18 供用 0.11km

深港段差解消
H18 供用 0.20km

防災事業
H18 完了 牛根境地区

大小路歩道設置(段差解消)
H18 供用 0.50km

川内道路
H18 薩摩川内都IC～串木野IC 6.5km 2/4供用
(全線供用)

東谷山・小松原歩道設置(段差解消)
H18 供用 1.80km

下福元自歩道設置
H18 一部供用 0.20km

平川道路
H18 平川交差点付近 0.4km 2/2供用
(右折レーン設置)

新城拡幅
H18 垂水市柘原 0.1km 2/2供用

海潟拡幅
H18 垂水市海潟 0.3km (歩道設置)
H18 垂水市海潟 0.3km 2/2供用

菱田段差解消
H18 供用 0.50km

永吉歩道設置(段差解消)
H18 供用 2.00km

有里自歩道設置
H18 供用 0.55km

下小原自歩道設置(交差点改良)
H18 供用 0.55km

平成18年度(2006年度)に供用を目標としていたうち、
目標を達成した(供用した)箇所を掲載している。

「ちやく²プロジェクト2006」達成状況一覧の見方

H19. 5. 28

路線・事業箇所名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標			事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
路線名及び事業箇所名	事業区間の所在地	事業の全体延長	供用目標年度・供用区間	供用延長	供用形態	事業の効果	平成18年度における事業の供用及び執行目標	事業の担当事務所
平成18年度の目標の達成状況（総括）			平成18年度の執行目標の達成状況（個別）					
箇所（区間）毎の平成18年度の目標達成状況			平成18年度の執行目標毎の達成状況			※目標遅延達成箇所を除き、原則として平成18年度末（平成19年3月末）時点での達成状況（用地取得率も平成18年度末時点のもの）		

凡例（改築事業の「平成18～22年度の供用目標」欄の供用形態）

(※)	H18年度供用のうち、4月1日から4月30日までの供用区間
2/2車線供用	2車線計画の道路について、2車線を施工し供用
2/4車線供用	4車線計画の道路について、2車線を施工し供用（3/4車線供用、2/6車線供用、4/6車線供用なども同様）
4/4車線供用	4車線計画の道路について、4車線を施工し供用（6/6車線供用も同様）
4車線拡幅	現在の道路を拡幅し、車線を4車線化して供用
2/4→4/4	「2/4車線供用」している道路について、計画どおり4車線とするため2車線を増設（4/6→6/6も同様）
登坂車線	現在の道路を片側車線のみ拡幅し、低速車の追い越しのため1車線を増設

凡例（交通安全事業の「路線・事業箇所名」欄の内容）

自歩道設置	自転車歩行車道（自転車・歩行者が通行するために設けられる道路の部分）の新設若しくは拡幅
段差解消	既存の自転車歩行車道の段差解消等のバリアフリー化
側道橋設置	自歩道又は歩道を設置するための橋を車道橋に併設して整備
付加車線設置	追い越し車線、ゆずり車線などの車線を増設
視距改良	見通しを改善するための局所的な拡幅、線形改良など
道の駅設置	駐車場、トイレ、情報提供施設の整備

凡例（電線共同溝事業の「平成18～22年度の供用目標」及び「平成18年度の執行目標」欄の内容）

無電柱化事業完了	電柱の撤去を行い、事業の全てが完了すること
本体工事	電線・通信線を収容するための施設を整備する工事
景観工事	本体工事完了後に植樹帯、歩道及び車道を整備する工事

凡例（平成18年度の執行目標の達成状況）

◎	目標以上達成：平成18年度の目標以上に事業が進捗または供用
○	目標達成：平成18年度の目標通り、平成18年度内（平成19年3月末）までに達成
◇	目標遅延達成または概成：平成18年度の目標を現時点（平成19年4月下旬）までに達成または概成（その事業目的が概ね達成されたこと）
△	目標未達成（供用目標保持）：平成18年度の執行目標は達成できないが、平成18～22年度の供用目標は達成可能
×	目標未達成（供用目標変更）：平成17年度の執行目標が未達成により、平成18～22年度の供用目標が達成不可能
☆	他事業関連で供用目標変更及び未達成：他事業関連との調整等により、平成18～22年度の供用目標が達成不可能

「ちやく2プロジェクト2006」達成状況一覧（鹿児島県）（1/5）

H19.5.28

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標	事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
改築事業						
東九州自動車道	曾於市大隅町岩川 ～ 曾於市末吉町 諏訪方	11.1km	H21年度 大隅IC～末吉財部IC 11.1km 2/4車線供用 (全線供用)	・九州縦貫道と大隅地域を結ぶ高速道路ネットワークの形成による地域間の交流・連携強化、物流効率化支援 ・大隅地域～鹿児島市間の所要時間を10分短縮 ・時間短縮効果 約20万人時間/年	・西梶尾橋上部工工事着手 ・埋蔵文化財調査（高古塚、野鹿倉、鳥居川、チャノ木遺跡）着手	大隅河川国道
△目標未達成（供用目標保持）		○目標通り西梶尾橋上部工着手 △用地協議未成立により埋蔵文化財調査着手が一部未達成				
国道3号 南九州西回り 自動車道 川内道路	薩摩川内市都町 ～ いちき串木野市 大里	13.8km	H18年度 薩摩川内都IC～串木野IC (H17年度末2/4車線供用済 L=7.3km) 6.5km 2/4車線供用 (全線供用)	・鹿児島市と薩摩川内市を結ぶ高速道路ネットワークの形成による地域間の交流・連携強化、物流効率化支援 ・薩摩川内市～鹿児島市間の所要時間を約30分短縮 ・時間短縮効果 約64万人時間/年	・L=6.5km 2/4車線（0→2/4）供用 （暫定供用）	鹿児島国道 P.10
○目標達成		○平成19年3月3日供用				
国道3号 鹿児島 東西道路	鹿児島市田上 ～ 同市上荒田町	3.4km	H21年度 鹿児島IC～建部IC 2.2km 2/4車線供用	・時間短縮効果 約172万人時間/年 ・主要渋滞ポイント2箇所ので渋滞緩和 ・CO2排出量削減 約2,300t-CO2/年	・用地買収完了 ・新武岡トンネル工事0.2/1.5km完了 ・田上橋完成	鹿児島国道
△目標未達成（供用目標保持）		○目標通り用地買収完了 △地元調整が難航し掘削開始が3ヶ月遅延。又地元調整により坑口から市道武岡団地中央線間（約140m）が昼間のみの施工となったため、新武岡トンネル工事0.2/1.5km完了が未達成 ○目標通り田上橋完成				
国道220号 古江バイパス	鹿屋市白水町 ～ 垂水市新城	7.5km	H19年度 鹿屋市花岡～垂水市新城 3.9km 2/2車線供用	・「古江坂」（不良線形、急勾配）の解消による走行性の向上	・埋蔵文化財調査完了 ・小島橋上部工着手 ・まさかり橋下部工完成	大隅河川国道
○目標達成		○目標通り埋蔵文化財調査完了 ○目標通り小島橋上部工に着手 ○目標通りまさかり橋下部工工事完成				
国道220号 新城拡幅	垂水市	5.8km	H18年度 垂水市柘原 (H17年度末2/2車線供用済 L=4.6km) 0.1km 2/2車線供用	・柘原地区の交通隘路区間（幅員狭小）の解消による走行性の向上 ・歩道整備による垂水南中学校、柘原小学校の通学路及び交通安全の確保	・L=0.1km 2/2車線供用	大隅河川国道 P.17
○目標達成		○平成19年3月13日供用				

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標		事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
改築事業							
国道220号 海潟拡幅	垂水市	5.1km	H18年度 垂水市海潟 0.3km 歩道設置	H18年度 垂水市海潟 0.3km 2/2車線供用 (H17年度末2/2車線供用済 L=4.0km)	・海潟地区の交通隘路区間(幅員狭小)の解消による走行性の向上 ・歩道整備による協和中学校、協和小学校の通学路及び交通安全の確保	・L=0.3km歩道設置完了 ・L=0.3km 2/2車線供用	大隅河川国道 P.18
○目標達成		○平成19年7月30日供用(歩道設置) ○平成19年3月13日供用(2/2車線)					
国道220号 早崎防災	垂水市・鹿児島市	5.2km	H19年度 牛根麓地区 2.7km 2/2車線供用 (牛根麓地区完成)	H17年度末2/2車線供用済 L=1.1km	・牛根麓地区の通行規制区間(2.6km)の解除 ・過去10年間で延べ159時間あった通行止めがなくなり、約600世帯の孤立を解消	・牛根大橋下部工(P1)完成 ・牛根大橋上部工(地組立)着手 ・牛根高架橋上部工(架設)完了	大隅河川国道
○目標達成		○目標通り牛根大橋下部工(P1)、牛根高架橋上部工(架設)完成 ○目標通り牛根大橋上部工(地組立)に着手					
国道225号 川辺改良	川辺郡川辺町 ～ 鹿児島市下福元町	8.3km	H20年度 影原交差点付近 0.3km 2/2車線供用	H20年度 川辺トンネル付近 1.2km 2/2車線供用 (H17年度末2/2車線供用済 L=3.2km)	(影原交差点付近) ・主要渋滞ポイント「影原交差点」の交通渋滞解消及び交通安全確保 (川辺トンネル付近) ・川辺トンネル付近 鹿児島市側の線形改良および登坂車線設置による走行性・安全性の向上	「影原交差点付近 L=0.3km区間」 ・用地買収促進78% ・影原橋工事着手 「川辺トンネル付近 L=1.2km区間」 ・用地買収着手	鹿児島国道
「影原交差点付近」 ◇目標遅延達成		◇境界確定に時間を要し、買収時期の遅れにより、用地買収促進78%の目標が遅延して達成 ○目標通り影原橋工事に着手					
「川辺トンネル付近」 △目標未達成(供用目標保持)		△地質調査の結果、一部の擁壁の構造形式等の設計見直しが必要となり用地幅が確定できなかったため、用地買収着手の目標が未達成					
国道226号 平川道路	鹿児島市平川町	2.3km	H18年度 平川交差点付近 0.4km 2/2車線供用 (右折レーン設置)		・右折車線を設けることにより、慢性的な朝夕の交通渋滞が緩和され周辺環境が改善されます。 ・時間短縮効果 約8万人時間/年 ・CO2排出量削減 約140t-CO2/年	・L=0.4km 2/2車線供用 (右折レーン設置)	鹿児島国道 P.11
○目標達成		○平成19年3月30日供用					
交通安全事業							
国道3号 大小路 歩道設置 (段差解消)	薩摩川内市大小路	0.50km	H18年度供用 0.50km 段差解消		・大小路地区のあんしん歩行エリアにおけるバリアフリー化により安心で快適な通行が実現	・工事完成 0.50km供用	鹿児島国道 P.12
○目標達成		○平成18年12月10日供用(事業完了)					

「ちやく2プロジェクト2006」達成状況一覧（鹿児島県）（3/5）

H19.5.28

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標	事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
交通安全事業						
国道3号 塚田 交差点改良	鹿児島市小山田町 (塚田交差点)	1箇所	H18年度完成 1箇所 全区間完成	・右折車線を設けることにより、慢性的な朝夕の交通渋滞が緩和され、周辺環境が改善	・用地取得完了 ・交差点改良完成	鹿児島国道 P.13
○目標達成		○平成19年3月30日完成（事業完了）				
国道3号 河頭中前 交差点改良	鹿児島市伊敷町 (河頭中前交差点)	1箇所	H19年度完成 1箇所 全区間完成	・河頭中学校へ通う道路に歩道を設けることで、通学、帰宅時に歩行者と自転車が安心して快適な通行が実現 ・右折車線を設けることにより、慢性的な朝夕の交通渋滞が緩和され、周辺環境が改善	・切土工事促進 ・擁壁工事着手	鹿児島国道
○目標達成		○目標通り切土工事を促進し、擁壁工事に着手				
国道10号 小浜歩道設置 (交差点改良)	霧島市隼人町小浜 (小浜交差点)	0.11km	H18年度供用 0.11km 全区間供用	・左折車線を設けることにより、慢性的な朝夕の交通渋滞が緩和され、周辺環境が改善	・工事完成 0.11km供用 (左折車線設置)	鹿児島国道 P.14
○目標達成		○平成18年10月31日供用（左折車線設置箇所完了）				
国道220号 菱田段差解消	大崎町菱田	0.50km	H18年度供用 0.50km 段差解消	・菱田小学校、菱田中学校、有明高校へ通う歩道のデコボコを解消することで、通学、帰宅時や地域住民の方が安心して快適な通行が実現	・工事完成 0.50km供用	大隅河川国道 P.19
○目標達成		○平成18年11月30日供用（事業完了）				
国道220号 永吉歩道設置 (段差解消)	大崎町永吉	2.00km	H18年度供用 2.00km 段差解消	・歩道のバリアフリー化を行うことで、地域周辺における電動車椅子・自転車・歩行者が安全で快適な通行が実現	・工事完成 2.00km供用	大隅河川国道 P.20
○目標達成		○平成19年3月30日供用（段差解消完了）				
国道220号 有里 自歩道設置	鹿屋市串良町有里	0.55km	H18年度供用 0.55km 全区間供用	・串良小学校、串良中学校、串良商業高校へ通う道路に歩道を設けることで、通学、帰宅時に歩行者と自転車が安心して快適な通行が実現	・工事完成 0.55km供用	大隅河川国道 P.21
○目標達成		○平成19年3月30日供用（事業完了）				

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標		事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
交通安全事業							
国道220号 下小原 自歩道設置 (交差点改良)	鹿屋市串良町 下小原	0.55km	H18年度供用	0.55km 全区間供用	・串良小学校、串良中学校、串良商業高校へ通う道路に歩道を設置することで、通学、帰宅時に歩行者と自転車が安心して快適な通行が実現。また交差点の形状変更と右折レーン設置を行うことで交通安全の確保	・工事完成 0.55km供用	大隅河川国道 P.22
○目標達成		○平成19年3月30日供用（事業完了）					
国道220号 二川 自歩道設置 (側道橋)	垂水市二川	0.03km	H18年度供用	0.03km 全区間供用	・牛根小学校、牛根中学校へ通う道路に歩道を設けることで、通学、帰宅時に歩行者と自転車が安心して快適な通行が実現	・工事完成 0.03km供用	大隅河川国道
×目標未達成（供用目標変更）		×基礎杭形式及び橋台で構造変更が生じたため、供用目標を平成19年度に変更					
国道220号 深港段差解消	垂水市深港	0.20km	H18年度供用	0.20km 全区間供用	・深港地区の歩道のデコボコを解消することで、地域住民の方が安心して快適な通行が実現	・工事完成 0.20km供用	大隅河川国道 P.23
○目標達成		○平成18年9月29日供用（事業完了）					
国道220号 磯脇 自歩道設置	霧島市 福山町磯脇(2)	1.20km	H19年度供用 (H17年度末供用済 L=1.0km)	0.20km 全区間供用	・福山小学校、福山中学校、福祉施設オレンジ学園へ通う道路に歩道を設けることで、通学、帰宅時に歩行者と自転車が安心して快適な通行が実現	・用地取得完了	鹿児島国道
△目標未達成（供用目標保持）		△用地取得難航のため、用地買収の目標が未達成（100%→98%）					
国道225号 東鹿籠 歩道設置	枕崎市東鹿籠	0.50km	H19年度供用	0.50km 全区間供用	・大型車通行障害箇所の道路線形の整備により走行性を向上 ・桜山小学校、桜山中学校へ通う道路に歩道を設けることで、通学、帰宅時に歩行者と自転車が安心して快適な通行が実現	・用地取得完了 ・橋梁下部工工事完成 ・橋梁上部工工事着手	鹿児島国道
○目標達成		○目標通り用地取得完了 ○目標通り橋梁下部工工事が完成、橋梁上部工工事に着手					
国道225号 下福元 自歩道設置	鹿児島市下福元	0.50km	H18年度一部供用 H19年度供用	0.20km 一部区間供用 0.30km 全区間供用	・福平小学校、福平中学校へ通う道路に歩道を設けることで、通学、帰宅時に歩行者と自転車が安心して快適な通行が実現	「H18供用区間」 ・一部区間工事完成 0.20km供用 「H19供用区間」 ・用地取得促進95%	鹿児島国道 P.15
「H18供用区間」 ○目標達成		○平成18年12月22日一部区間供用0.20km					
「H19供用区間」 ○目標達成		○目標通り用地取得を進捗					

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標	事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
交通安全事業						
国道225号 東谷山・小松原 歩道設置 (段差解消)	鹿児島市東谷山 ～ 小松原	1.80km	H18年度供用 1.80km 段差解消	・東谷山・小松原地区のあんしん歩 行エリアにおけるバリアフリー化に より安心して快適な通行が実現	・工事完成 1.80km供用	鹿児島国道 P.16
目標達成		平成19年3月29日供用（事業完了）				
電線共同溝事業						
国道10号 清水地区	鹿児島市清水	1.5km (両側)	H19年度 無電柱化完了	・鹿児島市街への玄関口として無電 柱化による都市景観の向上 ・バリアフリー化による安全で快適 な歩行空間の確保	・電線共同溝設置完了	鹿児島国道
目標達成		目標通り電線共同溝設置を完了				
国道225号 下荒田地区	鹿児島市下荒田	2.18km (両側)	H21年度 無電柱化完了	・鹿児島市街への玄関口として無電 柱化による都市景観の向上 ・バリアフリー化による安全で快適 な歩行空間の確保	・電線共同溝設置着手	鹿児島国道
目標達成		目標通り電線共同溝設置に着手				
国道225号 城南地区	鹿児島市城南	1.1km (両側)	H19年度 無電柱化完了	・鹿児島市街への玄関口として無電 柱化による都市景観の向上 ・バリアフリー化による安全で快適 な歩行空間の確保	・電線共同溝設置完了	鹿児島国道
目標達成		目標通り電線共同溝設置を完了				
防災対策事業						
国道220号 牛根境地区 防災対策	鹿児島県垂水市 牛根境	3.8km	H18年度 牛根境地区完了 〔H17年度未対策済 1箇所、H18年度3箇所防災工事完了〕	牛根境地区の異常気象時通行規制区 間（連続雨量200mm）の基準緩和又は 規制解除	・要対策箇所のうち、上園～磯地区 の3箇所完了	大隅河川国道 P.24
目標達成		目標通り要対策箇所のうち、上園～磯地区の3箇所完了				
国道226号 前之浜地区 防災対策	鹿児島市喜入前之 浜町	2.2km	H19年度 前之浜地区完了 〔平成19年度2箇所防災工事完了〕	前之浜地区の異常気象時通行規制区 間（連続雨量180mm）の基準緩和又は 規制解除	・要対策箇所のうち、 1箇所工事促進、1箇所着手	鹿児島国道
目標達成		目標通り要対策箇所のうち、1箇所工事促進、1箇所着手（うち1箇所は照査の結果、対策不要）				
震災対策事業						
鹿児島県内の 直轄国道 耐震補強	鹿児島県内の 耐震補強	47橋	H18年度 21橋完了 H19年度 15橋完了 (H17年度未対策済 11橋) 照査により10橋は対策不要	緊急輸送道路の橋梁耐震補強3 箇年プログラム対象橋梁の耐震 工事了	阪神大震災規模の地震に対して落橋 等の甚大な被害を防止し緊急輸送道 路としての機能を確保	・耐震対策 21橋完了
目標以上達成		目標以上に耐震対策を23橋完了 追加照査の結果、4橋対策不要				

南九州西回り自動車道 川内道路 【H19.3.3全線供用】

■事業概要

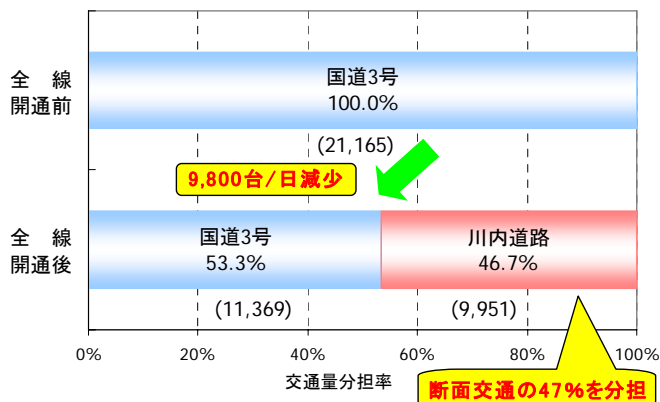
- 南九州西回り自動車道は、九州南西部の地域経済の活性化、高速定時性の確保に大きく寄与するものとして、熊本県八代市を起点として、水俣市・薩摩川内市などを経緯して鹿児島市に至る延長約140kmの一般国道の自動車専用道路です。
- 川内道路は南九州西回り自動車道の一部区間として、平成3年度に事業化され、暫定2車線の整備を実施。平成19年3月3日に薩摩川内都IC～串木野IC間L=6.5kmを供用（川内道路全線供用）しました。



■整備効果

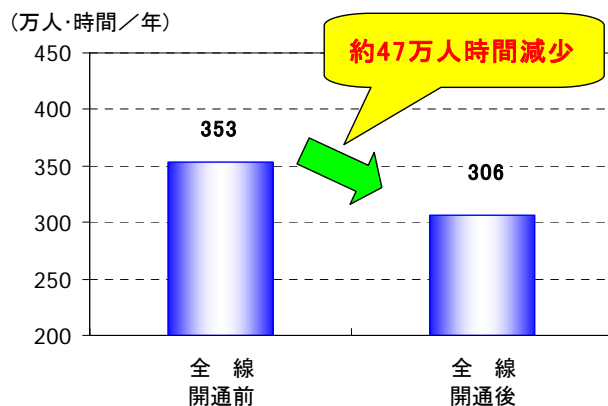
効果1 現道交通量の分散

- 本区間の供用により、川内道路が断面交通量の約47% (9,900台/日) を分担することとなり、国道3号の交通量は約9,800台/日減少しました。



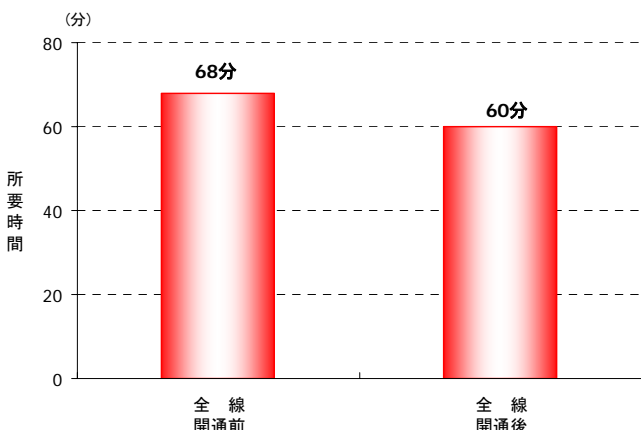
効果3 時間短縮効果

- 国道3号から川内道路への交通の転換により、年間約47万人時間の時間短縮効果がありました。



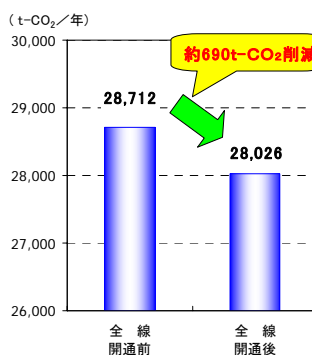
効果2 所要時間の短縮

- 川内道路等の全線開通により薩摩川内市役所～鹿児島県庁間の所要時間が約8分短縮しました。



効果4 CO₂排出量の削減

- 本区間の供用により、年間約690tのCO₂排出量を削減し、沿道環境の改善に寄与します。これは森林面積約65ha (仙巖園面積 (約5ha) の約13倍) に相当する二酸化炭素量に相当します。



※仙巖園 (磯庭園): 約5haで試算

国道226号 平川道路 【H19. 3. 30部分供用】

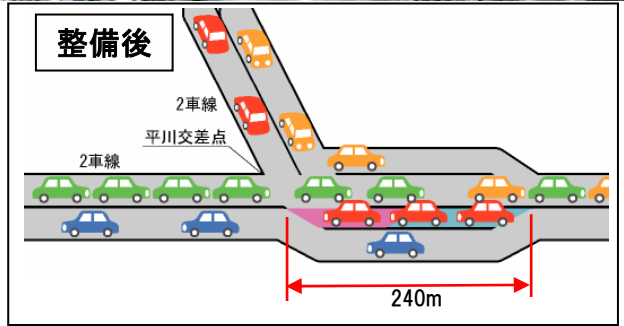
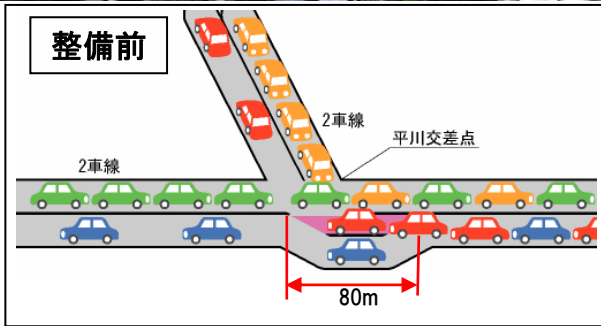
■事業概要

- 平川道路は、鹿児島市と南薩地域を結ぶ国道226号の恒常的な交通混雑の緩和と交通安全の確保等、沿道環境の改善を目的とした道路です。
- 国道226号鹿児島市平川の「平川交差点」は、鹿児島市街地方面からの右折交通に対して右折車線が短く、慢性的な交通渋滞の原因となっていました。
- この状況を緩和するため、平川交差点 (L=0.4km) 部分を、平成19年3月30日に供用しました。



至 指宿市

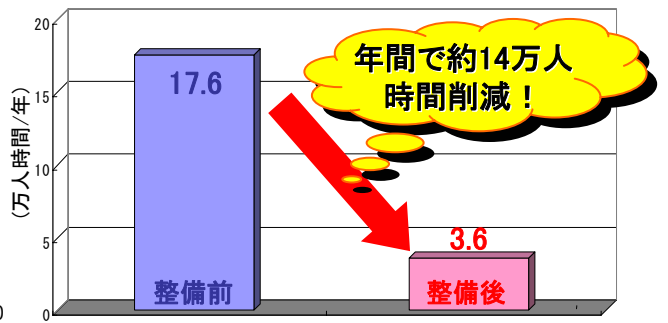
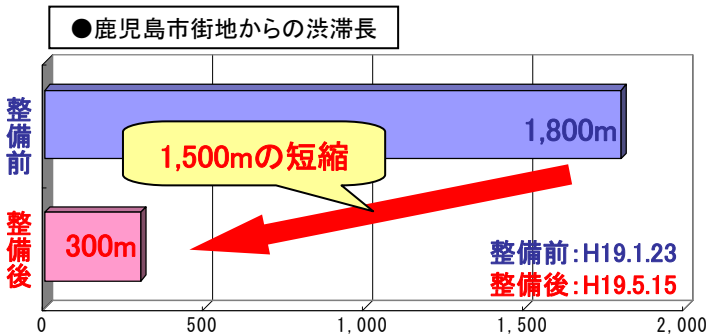
至 鹿児島市



■整備効果

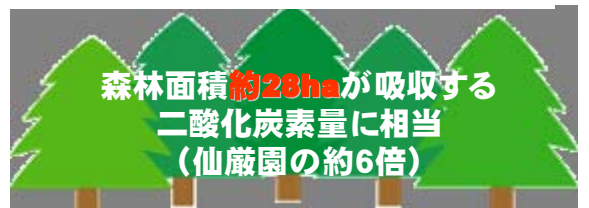
効果1 渋滞の緩和

平川交差点部分の供用により鹿児島市街地からの渋滞長は1,800mから300mに緩和されました。交通渋滞の緩和により、年間14万人時間の時間短縮効果がありました。



効果2 CO₂排出量の削減

交通渋滞の緩和等により年間約300t-CO₂のCO₂排出量が削減されます。これは森林面積約28ha (仙巖園面積 (約5ha) の約6倍に相当) が吸収する二酸化炭素量に相当します。



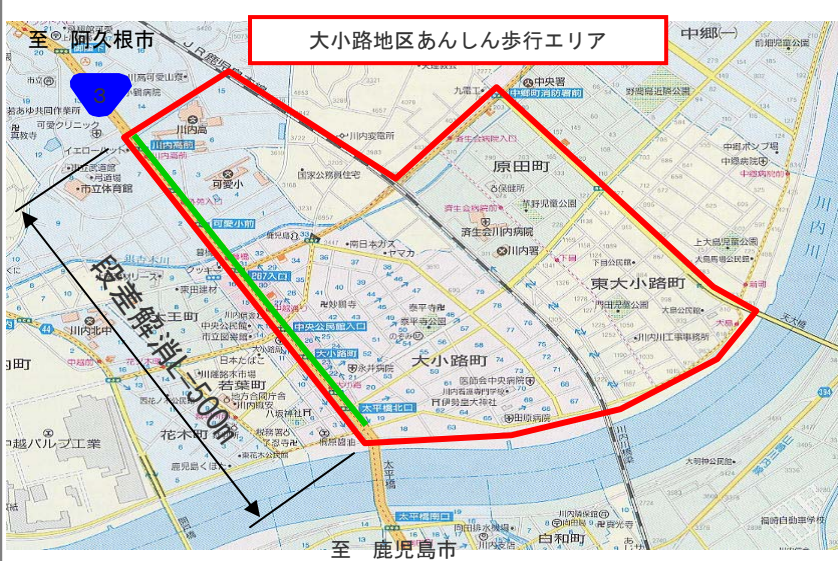
国道3号 薩摩川内市 大小路歩道設置（段差解消） 【H18.12.10供用】

事業概要

- ・薩摩川内市大小路地区は、沿線に学校等の公共施設が多く歩道の利用者が多く、事故も多発していることから、平成15年度に『あんしん歩行エリア』に指定されているが、歩道内は段差や勾配、凹凸等により、快適に通行する事ができない状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、既設歩道の段差解消L=500mに着手し、平成18年12月10日に供用しました。

整備内容

- ・既設歩道の段差・波打を解消、視覚障害者誘導ブロックの設置により、安全で快適な歩行空間の確保を行いました。



整備効果

安全・安心な歩行空間の確保

- ・既設歩道のデコボコや巻き込み部の段差解消、視覚障害者誘導ブロックを設置したことにより、安全で快適な歩行空間を確保することができました。

【整備前】



歩道に勾配や凹凸があり快適に通行できませんでした。

【整備後】



視覚障害者誘導ブロックを設置することで、安全な誘導を行いました。

乗入れ口の段差を解消することで、歩きやすい歩道を整備しました。

国道3号 鹿児島市 塚田交差点改良【H19.3.30完成供用】

事業概要

- ・塚田交差点は、交通量が多く、鹿児島市街地方面から郡山町方面への右折車線がなく、右折車が直進車を阻害しており、慢性的に渋滞が発生している状況でした。また、歩道も狭小であるため歩行者の安全が確保されていない状況でした。
- ・この状況を改善するため、事業着手し平成19年3月30日に完成供用しました。

整備内容

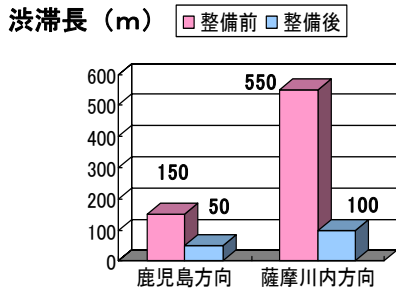
- ・右折車線を設置し、両側に歩道（W=3.5m）を設置しました。



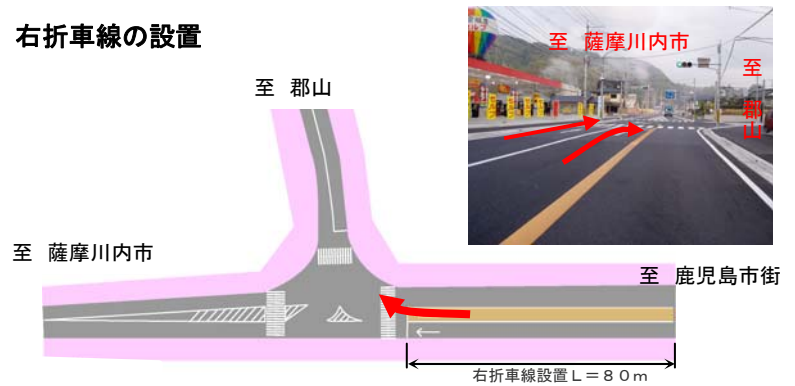
整備効果

渋滞緩和及び交通安全性の向上

- ・右折車線の設置・歩道の拡幅を行い、渋滞の緩和や交通事故の低減及び歩行者の安全を図ります。



右折車線の設置



安全・安心な歩行空間の確保

- ・歩道未整備区間の歩道新設により、歩行者の安全・安心な歩行空間の確保ができました。

【整備前】



【整備後】



国道10号 霧島市 小浜歩道設置（交差点改良） 【H18. 10. 31完成供用】

事業概要

- ・小浜交差点は、交通量が多く、左折車線長が不足し、左折車両の停車により、渋滞を引き起こしている状態でした。また、この地区は、沿線に小学校が有り、通学路となっているが、歩道が整備されていない為、歩行者の安全が確保されていない危険な状況でした。
- ・この状況を改善するため、事業に着手し平成18年10月31日に完成供用しました。

整備内容

- ・左折車線を延伸し、片側に歩道（W=2.5m）を設置しました。

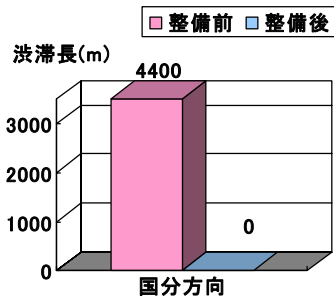
【位置図】



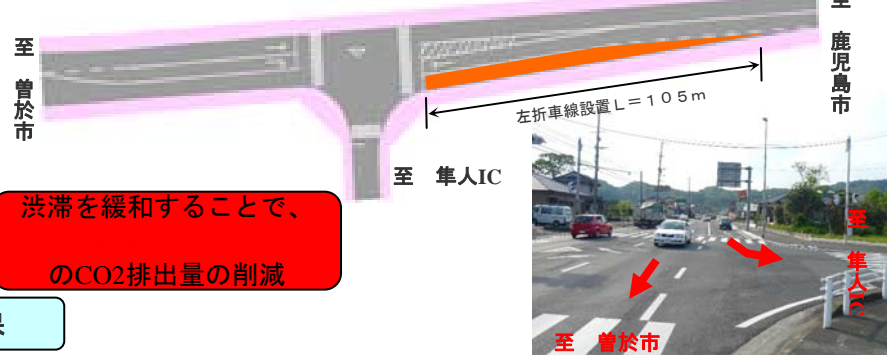
整備効果

渋滞緩和及び交通安全の向上

- ・左折車線の延伸により、左折車に阻害されていた直進車の渋滞が緩和され、周辺環境が改善します。



左折車線の延伸



安全・安心な歩行空間の確保

- ・歩道未整備区間の歩道新設により、児童等の歩行者の安全・安心な歩行空間の確保ができました。

【整備前】



【整備後】



国道225号 鹿児島市 下福元自歩道設置【H18. 12. 22一部供用】

■ 事業概要

- ・下福元地区は、沿線に学校があり通学路となっているが、歩道が1.0m程度と狭く歩行者と自転車利用者等の離合ができず危険な状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、自歩道設置L=500mに着手し、平成18年12月22日に一部区間L=200mを供用しました。

■ 整備内容

- ・自歩道 (W=3.5m) を設置し安全・安心な歩行空間の確保を行いました。



■ 整備効果

安全・安心な歩行空間の確保

- ・歩道狭隘区間の自歩道整備により、歩行者・自転車利用等の安全・安心な歩行空間を確保することができました。

【整備前】



歩道が狭く、通学生が危険な状況でした

【整備後】



安全・安心な歩行空間を確保

国道225号 鹿児島市 東谷山・小松原歩道設置（段差解消） 【H19. 3. 29完成供用】

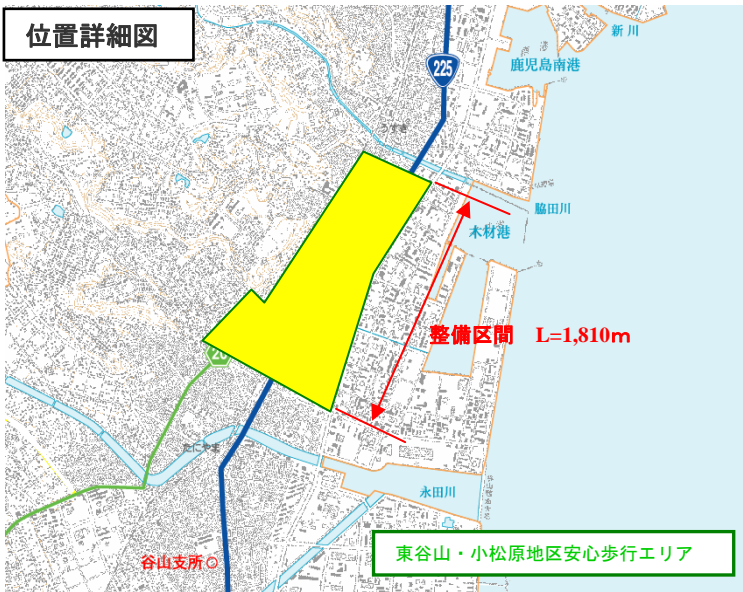
事業概要

- ・鹿児島市東谷山・小松原地区は、沿線に学校等の公共施設が多く歩道の利用者が多く、事故も多発していることから、平成15年度に『あんしん歩行エリア』に指定されているが、歩道内は段差や勾配、凹凸等により、快適に通行する事ができない状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、既設歩道の段差解消L=1800mに着手し、平成19年3月29日に供用しました。

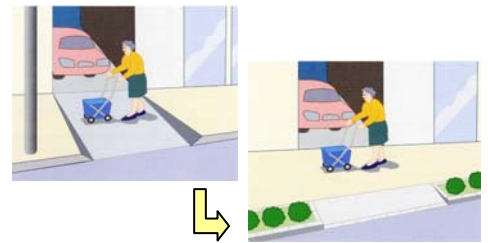
整備内容

- ・既設歩道の段差解消及び視覚障害者誘導ブロックの設置を行うことで、安全で快適な歩行空間の確保を行いました。

位置詳細図



<段差解消>



<視覚障害者誘導ブロック>



整備効果

安全・安心な歩行空間の確保

- ・既設歩道のデコボコや巻き込み部の段差を解消、視覚障害者誘導ブロックを設置することで、安全で快適な歩行空間を確保することができました。

【整備前】



約15cmの段差
がありました。

【整備後】



段差解消により、安全・安心な歩行空間を確保しました。

国道220号 新城拡幅 【H19. 3. 13部分供用】

■事業概要

- ・ 新城拡幅は、交通隘路の解消、歩行者の安全性の向上を図ることを目的として計画された延長5.76kmの事業です。
- ・ 平成18年6月30日までに事業区間内の4.80kmが供用、平成19年3月13日に100mを新たに供用しました。

■整備効果

効果1 安全な歩行空間の確保

- ・ 国道の歩道は幅員が狭く、なかには歩道の無い区間もあり、沿道の小中学校へ通う児童・生徒は危険な状態でした。今回の整備により安全な歩行空間が確保できました。

未整備箇所



整備済箇所



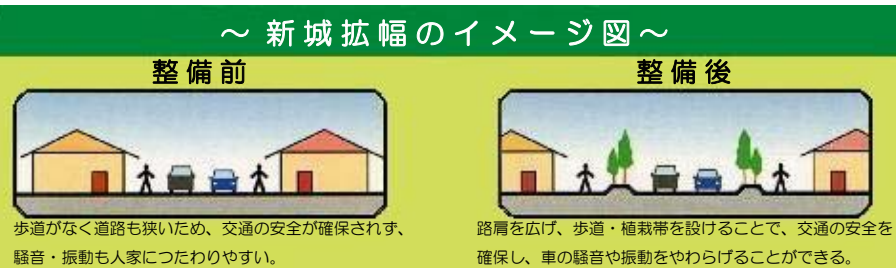
効果2 「走りやすさ」の向上

- ・ 整備前は道幅が狭く、急カーブであったため、大型車の通行においてはセンターラインをはみだして通行するなど危険な状態でした。
- ・ 今回の整備により安全に車両の擦れ違いができるようになりました。

未整備箇所



整備済箇所



<地域の声>

- ・ 歩道の整備前は通学路として、すべて海岸の通りや路地を利用していたが、国道の歩道を安全に歩行出来るようになったため、**通学路を国道に変更**しました。また、人通りの多い国道を通学路にしたため**防犯効果**も上がりました。（垂水南中学校）
- ・ 年に5回程度**野外学習**を実施しているが、歩道が広くなったため**安心して移動**できるようになりました。（柘原小学校）



国道220号 曾於郡大崎町 菱田段差解消【H18. 11. 30完成供用】

事業概要

- ・大崎町菱田地区は、乗入れ口による歩道の波打ちや急勾配箇所、デコボコが著しく、沿線には小中学校・高校が点在しており、児童等の歩行者・自転車の通行に支障をきたしている状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、段差解消L=500mに着手し、平成18年11月30日に供用しました。

整備内容

- ・既設歩道の段差・波打ちを解消することにより、安全で快適な歩行空間の確保を行いました。

【位置図】



【詳細位置図】



整備効果

- ・既設歩道の波打ちやデコボコを解消することで、安全で快適な通学路等の歩行空間を確保することが出来ました。

【整備前】



デコボコや側溝蓋のガタツキ等、歩きにくい状況でした。

【整備後】



デコボコ、段差を無くし、歩きやすい歩道に改善しました。

国道220号 曾於郡大崎町 永吉歩道設置（段差解消） 【H19.3.30供用】

事業概要

- ・大崎町永吉地区は、歩道の波打ちやデコボコが著しく、児童や沿道利用の歩行者・自転車の通行に支障をきたしている状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、既設歩道の段差解消L=2000mに着手し、平成19年3月30日に供用しました。

整備内容

- ・既設歩道の段差・波打を解消しました。

【位置図】



【詳細位置図】



整備効果

安全・安心な歩行空間の確保

- ・歩道のデコボコや乗入れによる段差等を解消することで安全で快適な通学路等の歩行空間を確保することが出来ました。

【整備前】



凹凸、乗入れによる段差等、歩きにくい状況でした。

【整備後】



凹凸、段差を無くし、歩きやすい歩道に改善しました。

国道220号 鹿屋市 有里自歩道設置【H19.3.30完成供用】

事業概要

- ・鹿屋市串良町有里地区は、近隣に小中学校・高校及び公共施設が点在しているが、歩道がなく歩行者・自転車が危険な状態で通行をせざるを得ない状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、歩道新設L=550mに着手し、平成19年3月30日に供用しました。

整備内容

- ・上り線側に歩道（W=3.0m）を新設することにより、安全で快適な歩行空間の確保を行いました。

【位置図】



【詳細位置図】



整備効果

安全・安心な歩行空間の確保

- ・歩道未整備区間の歩道新設により、通学者等の歩行者・自転車の安全で快適な歩行空間を確保することが出来ました。

【整備前】



【整備後】



国道220号 鹿屋市 下小原自歩設置（交差点改良） 【H19. 3. 30完成供用】

事業概要

- ・鹿屋市串良町下小原地区は、近隣に小中学校・高校及び公共施設が点在しているが、歩道狭小やデコボコで歩行者・自転車の通行に支障をきたしている状況となっていました。
- ・また2箇所交差点で、複雑な交差点形状や右折車線がないことから、追突・出会い頭事故が多発している状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、歩道拡幅L=550m及び交差点改良に着手し、平成19年3月30日に供用しました。

整備内容

- ・既設歩道を拡幅することにより、安全で快適な歩行空間の確保を行いました。
- ・①右折車線の設置、②わかりにくい交差点の形状変更により交通事故の防止を図りました。

【位置図】



【詳細位置図】



整備効果

安全・安心な歩行空間の確保

- ・既設歩道を拡幅したことにより、安全で快適な通学路等の歩行空間を確保することが出来ました。

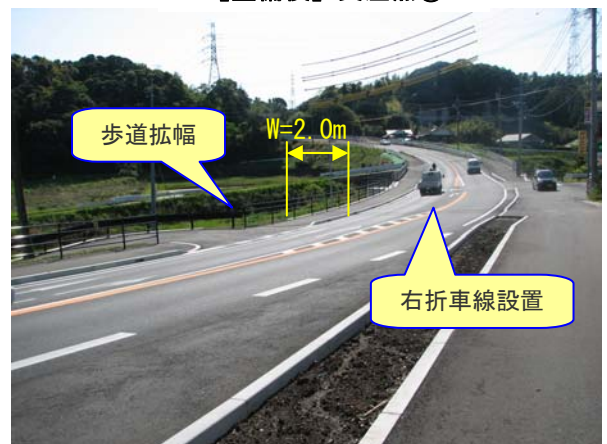
交通安全性の向上

- ・交差点① 右折車線の設置で、右折車による直進車両の阻害を防止し、追突事故等の削減が期待できます。
- ・交差点② 複雑で分かりにくい交差点形状をコンパクト化することで、迷走運転等の軽減が期待出来ます。

【整備前】交差点①



【整備後】交差点①



国道220号 垂水市 深港段差解消【H18.9.29完成供用】

事業概要

- ・垂水市深港地区は、歩道の波打ちやデコボコが著しく朝夕の通学生及び沿道利用の歩行者・自転車の通行に支障をきたしている状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、既設歩道の段差解消L=200mに着手し、平成18年9月29日に供用しました。

整備内容

- ・既設歩道の段差・波打を解消することにより、安全で快適な歩行空間の確保を行いました。

【位置図】



【詳細位置図】



整備効果

安全・安心な歩行空間の確保

- ・歩道のデコボコや車輛乗入れ口による段差等を解消することで安全で快適な通学路等の歩行空間を確保することが出来ました。

【整備前】



凹凸、乗入れによる段差等、歩きにくい状況でした。

【整備後】



凹凸、段差を無くし、歩きやすい歩道に改善しました。

国道220号 牛根境地区 防災対策 (上園～磯区間 防災対策【H19. 3. 28 完了】)



■事業概要

当該地区は、始良カルデラ壁の東縁で災害常襲箇所であり、「連続雨量200mmに達した場合」に通行止めを行う、「異常気象時通行規制区間(L=3.8km)」に指定されています。

当事業により、上園地区～磯地区の対策を完了させ、当規制区間の解除または緩和を目指しています。

平成18年度に要対策箇所3箇所の対策が完了し、当区間の要対策箇所14箇所全ての対策が完了しました。

■整備効果

・防災工事が完了し、通行規制区間が解除(または緩和)されることにより、牛根境地区の孤立が解消し、安全で快適な暮らしが実現します。また、信頼性の高い道路を確保することにより、観光や社会経済などの地域の活性化が図られます。



対策前



対策後

